



# 〔仮称〕道標(みちしるべ)やまがた2028 ～生命と希望をつなぐみちづくりの提案～

## 山形県『次期道路中期計画』策定概要

### 現状・背景

- ①少子高齢化を伴う人口減少が加速**
  - 山形県の人口は今後も加速度的に減少
  - 高齢化率も上昇し、「超高齢社会」に突入
- ②社会保障関係費の増によるインフラ投資が圧縮**
  - 山形県道路関係予算は平成10年度をピークとし、約8割の減少となっている
- ③整備途上の高速・高規格道路**
  - 高速道路の供用率が約7割を超え、地域間交流や経済活動の活性化のため、利活用策の充実が必要
  - しかしながら残りの約3割は事業中または未着手であり、早期のネットワーク構築が求められる
- ④公共事業を巡る社会情勢の変化**
  - 「東日本大震災」を契機に国土強靱化や防災・減災の取組みの必要性が再認識
  - 建設業者数、建設業就業者数の減少により、建設業界全体の高齢化と技術継承への懸念

### この10年間で見えてきた課題

- ①平成20年代に顕著となった課題**
  - 全国で登下校中の児童・生徒の列に自動車が入り込む事故が相次ぐ(交通安全事業へのニーズが上昇)
  - 道路予算の減少に伴う事業の長期化
- ②道路施設の老朽化が進行**
  - 高度経済成長期に整備された道路施設の老朽化が進行(橋梁・トンネル等)
  - 道路施設の長寿命化対策に要する予算が高止まり
  - 老朽化施設の診断・対策に必要な人材の確保
- ③東日本大震災で浮び上がった課題**
  - 非常時も機能する道路網の形成(リダンダンシーの確保)
  - 地震・津波対策
  - 道路の副次的な機能への取組み
  - 情報収集・提供のあり方
  - 「道の駅」の防災機能としての可能性
- ④新たな時代のニーズへの対応**
  - インバウンドを含む新たなニーズに対応した道路環境の整備促進(多言語表記、道の駅の充実)
  - 安全に自転車を利用できる環境整備

### 各界からの意見

- ①県民からの意見 (H29県政アンケート)**
  - 道路全般(高速道路、国・県道)に対する要望は依然として根強い
  - 交通安全対策や高齢者の利便性向上に対する要望は高い傾向
  - 市街地部の道路整備(歩道の段差解消等を含む)や防災対策への要望も多い
- ②道路利用者からの意見**
  - 山形市中等市街地部の渋滞箇所(山形西廻りB.P、国道13号等)の対策必要
  - 休憩施設や観光拠点となる「道の駅」に駐車スペースやトイレの拡充必要
  - 物流や旅客の移動・運搬のためにも高速道路や地域高規格道路の整備は必要
- ③市町村・県OBからの意見**
  - 高規格幹線道路網やI.Cアクセス道路の整備が必要
  - 道路施設の長寿命化や冬期の交通確保など、維持管理の充実も必要
  - 身近な道路や通学路等の整備も必要
- ④総合支庁WG及び県庁道路関係課職員からの意見**
  - 少子高齢化・予算減少に伴い、メリハリのある管理手法の検討
  - 観光交流やインバウンドに対応した道路及び周辺環境の整備
  - 交通安全事業の対象を、児童・生徒から高齢者へも広げる
  - 事業個所の厳選や、事業化の際の旧道取扱いに留意が必要
  - 自動運転などの新技術や自転車利用等の高まりにも注視が必要

### <現・道路中期計画の骨格>



#### 5つのみちづくり方針

#### 10のみちづくり施策

- (活力・交流)**
  - 1. 活力と交流を生み出すみちづくり
    - 1. 高速道路・地域高規格道路の整備中区間の供用と未着手区間の着手
    - 2. 高速道路ネットワーク形成と連携したICアクセス道路等の整備推進
- (暮らし・地域)**
  - 2. 暮らしと地域を支えるみちづくり
    - 3. 生活圏間・主要都市間ネットワークの整備推進
    - 4. 生活幹線道路ネットワークの整備推進
- (人・環境)**
  - 3. 人と環境を大切にすみちづくり
    - 5. 中心市街地や都市の拠点機能を高める都市基盤の推進
    - 6. 人に優しい道路空間の整備推進
- (安全・安心)**
  - 4. 安全と安心を確保するみちづくり
    - 7. 緊急輸送道路の強化の推進
    - 8. 一般道路の機能向上の推進
- (保全・協働)**
  - 5. 次の世代に継承できるみちづくり
    - 9. 予防保全型維持管理による道路施設の長寿命化
    - 10. 県民協働と効率的な道路維持管理の推進

※施策の赤色は最優先する施策

### 課題

### ニーズ

現状や課題およびニーズなどから考えられる現時点での主な留意点 (H29.12.1時点)

- 持続可能で活力に満ちた地域社会を実現するためのインフラの構築
  - ・高速交通網、I.Cアクセス道路、地域間交流道路などの整備
- 子どもの命を守り、高齢者も暮らしやすい安全・安心な社会づくり
  - ・交通安全事業の推進、自転車の利活用、街なかのにぎわい創出に向けた取組み
- インバウンドの取込みを見据えた観光の振興に資する道路環境づくり
  - ・景観形成支援、「道の駅」の質の充実、案内標識・標示等の充実、多言語化への対応
- 既存の道路の安全で効率的な運用の推進
  - ・橋梁等道路施設の長寿命化対策、防災対策、適切な維持管理のための取組み

### 提言

☆ 「みちづくり評議会」からの提言を計画に反映 ☆